

令和3年度全国学力・学習状況調査 朝来市小学6年生と中学3年生の 学力と学習状況の分析結果



令和3年5月27日（木）実施

調査の概要

「全国学力・学習状況調査」は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立すること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることが目的です。昨年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となりましたが、今年度は、悉皆調査として文部科学省によりすべての小・中学校を対象としてこの調査が実施されました。

この調査によって測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面となります。さらに、テストではなく、調査と銘打たれていることから、正答率の高さではなく、考え方が定着しているかどうかを確認するためのものであるとともに、これからの社会を担っていく子どもたちに身に付けてほしい資質・能力といった学習の基盤となるものの調査であるといえます。

また、現時点では、新型コロナウイルス感染症による大きな影響は表れていませんが、朝来市教育委員会は、長期間慎重に様子を見ていく必要があると考えています。

調査の内容

国語、算数・数学

出題内容（小学校）

<国語>

- 1 スピーチの構成、目的に適した資料活用に関する問題
- 2 文章の内容の中心を把握し、中心となる語や文を使って要約するような問題
- 3 漢字や文法など語句に関する問題

<算数>

- 1 速さと道のりに関する問題
- 2 三角形等、複数の図形を組み合わせた問題
- 3 棒グラフを中心にしたデータに関する問題
- 4 日常生活の場面に即して判断や処理に関する問題

出題内容（中学校）

<国語>

- 1 話し合いを題材に質問の意図をとらえるような問題
- 2 書いた文書をもとにした推敲に関する問題
- 3 物語文による登場人物や内容理解に関する問題
- 4 漢字や文法など語句に関する問題

<数学>

- 1 四則計算に関する問題
- 2 一元一次方程式に関する問題
- 3 図形の面積に関する問題
- 4 関数に関する問題
- 5 データに関する問題
- 6 事柄特徴を数学的に説明するような問題
- 7 表やグラフを使って問題を解決するような問題
- 8 データに関する判断や説明をする問題
- 9 図形の位置関係や証明に関する問題

調査結果の分析

小学生

国語

全国平均をやや下回る

算数

全国平均と同程度

中学生

国語

全国平均と同程度

数学

全国平均を下回る

小学校各教科の結果

国語

全国平均をやや下回る

定着傾向がみられる資質・能力

- 目的に応じて、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える力
- 目的や意図に応じて、資料を使って話す力
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力

定着傾向がみられる代表的な問題

1

上野さんの手帳では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの「スピーチメモ」「スピーチ」(資料①)から(資料④)です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「スピーチメモ」

「はじめ」
 ○話題の提示
 ・新五千円札の「顔」
 ・津田さんの説明

「中」
 ○津田さんの業績
 ・業績1
 ・女子英学塾を設立
 ・業績2
 ○(資料②)④
 女性の英語教師を育成

「終わり」
 ○自分の感想

「スピーチ」

(資料①)を示すみなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのか調べてみました。

津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力をつくした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになります。津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

(資料②)を示す一つは、「女子英学塾」を設立したことです。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんどありませんでした。

(資料③)を示すもう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したことと、女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかけました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

(資料④)を示すこの地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思います。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることになったのだと思います。

資料④

資料③

津田梅子の業績2
女性の英語教師を育成

資料②

津田梅子の業績1
1900年
女子英学塾を設立

資料①

新五千円札の「顔」
津田梅子(1864-1929)

上野さん

朝来市では、伝える相手を意識して、どんな工夫をすれば、伝わりやすいか考えながら表現する場面が授業の中で設定されているからこそ対応できたんだね。



- 1 事実と感想とを区別できるように、「(中)」で業績、「(終わり)」で自分の感想を話している。
- 2 感想を印象づけられるように、「(はじめ)」と「(終わり)」で自分の感想を話している。
- 3 二つの事実を区別できるように、「(はじめ)」で一つの業績、「(中)」でもう一つの業績を話している。
- 4 事実と感想とを関連づけられるように、「(中)」で二つの業績と自分の感想の両方を話している。

課題があると考えられる資質・能力

- 目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する力
- 自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える力

課題があると考えられる代表的な問題

3

丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことにしました。次は、丸山さんが書いた「文章の下書き」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

「文章の下書き」

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

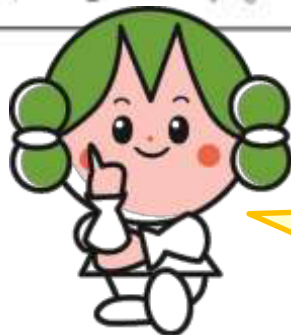
みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたまま、アころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。イ時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。また、道具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にウ積み重ねられています。かたづけおそれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エけんいんなのだと思います。オその他にも、遊び終わったらすぐに道具をかたづけることがむずかしい場合もあります。それでも、きちんとかたづければ、

わたしたちは気持ちよく遊ぶことができます。わたしは、カでも、きちんとかたづければ、

きちんとかたづけることが大切ならば、クそうじたんどの人などがかたづければよいという考えもあるかもしれません。確かに、クたん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

道具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができます。と思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。



言葉の特徴等は分かってるんだけど、文章の中での使い方等の理解には課題があるみたいだね。

(2) 丸山さんは、——部イとオの文について、言葉の使い方を確認しています。

次のイの文について、——部「残されています」の主語として適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

イ 時には、みんなが使っていた一輪車がかたづけられずに残されています。

- 1 みんなが
- 2 使っていた
- 3 一輪車が
- 4 かたづけられずに

次のオの文について、——部「すぐに」はどの言葉をおもしろくしていますか。適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

オ その他にも、遊び終わったらすぐに遊具をかたづけられることがおもしろい場合もあるでしょう。

- 1 遊び終わったら
- 2 遊具を
- 3 かたづける
- 4 おもしろい

課題克服に向けた授業展開例

国語

身に付けさせたい資質・能力

文の中における主語と述語の関係を捉える力。

ねらい

主語と述語との関係、修飾語と被修飾語の関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。

授業展開例

4年生 言葉 言葉について考えよう 「つながりに気をつけよう」

めあて：お題に合わせてみんなが「あっ」と驚く一言を文で書こう

- 1 「写真で一言」で例示されている画像を見て、主語と述語の関係を意識し、適切な修飾語をつけることで、みんながあっと驚く一言が言えるようにする、そんな学習を進めていくことを全体に確認する。
- 2 見本のスライドを参考にしながら、PowerPointを使ってASAGO GRAND PRIXのスライドを作る。
- 3 例示された一枚の画像を貼り付け、そこから感じる心情を表現する。その際、主語と述語、どの言葉がどの言葉を修飾しているかと考えながらスライドを完成させる。
- 4 「写真で一言」で書いた一言を発表し、主語と述語、修飾語と被修飾語の関係の面白さを味わう。
- 5 その他の写真でも同じように文を考え、発表し合う。
- 6 振り返りをする。

下線部 _____ のように今日の授業で“めざす姿”を児童に示します。
めざす姿を実現するための手立て（ヒント）が下線部 _____ のように示されているのがポイントです。



（指導の工夫）

- 4学年の国語の教科書P.101～102にある2つの例題を学習してから、「写真で一言」の活動を行う。
- 教師用のPowerPointと児童用のPowerPointでは、使える機能が異なるため、児童用のPowerPointを使って見本のスライドを作成しておく。
- 2学年から学習する主語と述語の単元から本教材は活用できる。写真からまず述語を考えさせ、次に主語を考えさせることにより、楽しみながらわかりやすく主語と述語の学習ができる。同様に複合語の学習をする高学年でも本教材が活用できる。

○ 1枚の写真为例示し、考え方の過程を示す。



ペロに注目して考えると…取れちやいそう。

述語は、とれちやいそう。ということは、主語はペロだから。

ペロ、取れちやいそうになる！

○ 「迷子の迷子のゴリラ君」

どんなゴリラであるかということが、「迷子の」を2度繰り返すことで修飾している。「子猫」と「ゴリラ」を比較する意識のズレが面白い。



○ 「一人で、水鉄ぼうやっています。かなしいですわ。」

「やっている」のは何人で、何をやっているのかと確認し、修飾語と被修飾語の関係を考える。また「かなしいですわ。」と感じているのは誰か。隠されている主語を想像する。



○ 児童が自分の力で PowerPoint のシートを作成することで、ICT 機器を使って学習している達成感を味わうことができる。

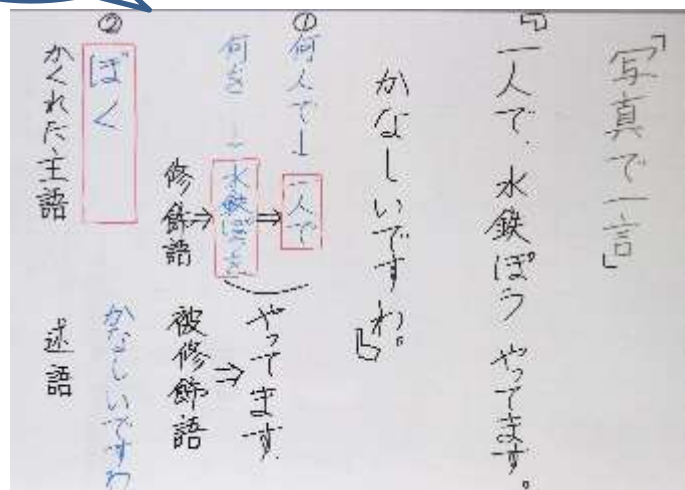
○ 視点の違う画像を教師側で選択することにより、児童は画像を見た思いを、豊かに表現することができ、興味関心を持ちながら、主語と述語や修飾語と被修飾語の関係を学ぶことができる。



授業も盛り上がります。



板書例



定着傾向がみられる資質・能力

- 速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができる力
- 図形を数学的に処理する力
- グラフから必要な情報を読み取る力

定着傾向がみられる代表的な問題

2

図1のような直角三角形があります。

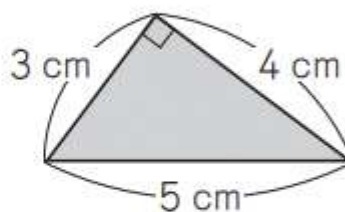


図1

- (1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

<正答>

$$3 \times 4 \div 2 = 6$$

6 cm^2

<誤答>

$$3 \times 4 \times 5 \div 2 = 30$$

30 cm^2

与えられた条件全てを使って計算してしまっている誤答が全国的に多かったようです。

朝来市の児童は、公式[底辺×高さ÷2]を丸暗記するのではなく、公式の意味を理解して解いているということだね。



課題があると考えられる資質・能力

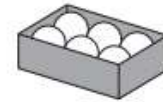
- 複数のデータを分類・整理する力
- 場面から数量の関係を捉えて正しく式に表し、計算をする力

課題があると考えられる代表的な問題

4

こはるさんたちは、今までに学習してきた、いろいろなわり算の問題について振り返っています。

- (1) ボールが23個あります。1箱にボールを6個ずつ入れていきます。



全部のボールを箱に入れるには、何箱あればよいかを求めるために、下の計算をしました。

$$23 \div 6 = 3 \text{ あまり } 5$$

全部のボールを箱に入れるには、少なくとも何箱あればよいかを書きましょう。

- (2) 8人に、4Lのジュースを等しく分けます。
1人分は何Lですか。求める式と答えを書きましょう。

朝来市の児童は、「何を基準にして分けるか」という『数量の関係を正しく捉える』ことに課題があるんだね。



課題克服に向けた授業展開例

算数

身に付けさせたい資質・能力

場面から数量の関係を捉えて正しく式に表し、計算をする力

ねらい

「問題場面に対応した式について話し合う活動」を通して、被除数にあたる数と除数にあたる数を判断し、「正しく式に表し、計算する力」を身につける。

授業展開例

4年「小数のわり算」

めあて：どんな式で表せるのか考え、説明しよう

【問題】

4人で2mのひもを同じ長さに切って分けます。
1人分の長さは何mになりますか。



どんな式で表せるかを考え、計算しましょう。

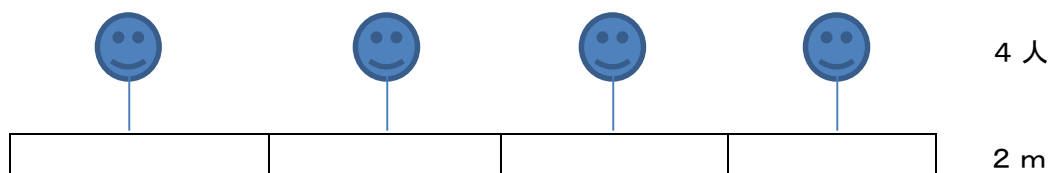
2より4の方が大きいけど、 $4 \div 2$ じゃないのかな？



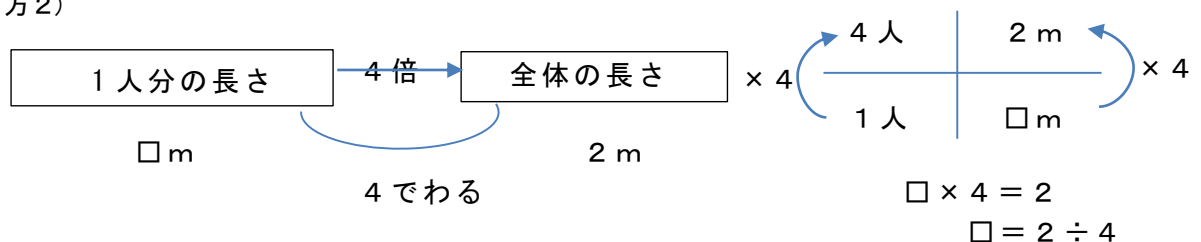
① 問題文を読み、課題をつかむ。

4人で2mのひもを分けることを図や絵に表しながら説明し、式を立てる。

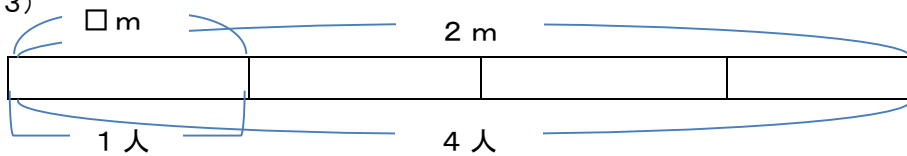
(考え方1)



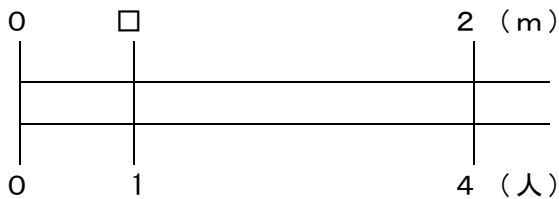
(考え方2)



(考え方3)



(考え方4)



絵や図と式を結び付けて考えてみると分かりやすいね！



② ペアで話し合い、その後みんなで話し合う。

③ $2 \div 4$ の計算の仕方を自分で考える。



2は0.1の20こ分なので、
 $2 \div 4$ は、0.1の $(20 \div 4)$ こ分です。
だから、 $2 \div 4 = 0.5$ です。

2を10倍して $20 \div 4$ の計算をすると、5です。
その5を10でわると、答えが求められます。
だから、 $2 \div 4 = 0.5$ です。



④ 練習問題を解く。

(指導の工夫)

- ・ 具体物を操作したり、絵や図で表したりしながら、 $2 \div 4$ という立式の理由を考える場面を通して、問題場面に対応した式について話し合い、理解を深める。
- ・ $2 \div 4$ の計算の仕方については、2は0.1の何個分かを考えたり、2を10倍した式をもとに考えたりすればよいことについて気づかせる。

中学校各教科の結果

国語

全国平均と同程度

定着傾向がみられる資質・能力

- 文章に表れているものの見方や考え方を捉え自分の考えを持つ力
- 文脈に即して漢字を正しく読む力
- 語句の意味を理解する力

定着傾向がみられる代表的な問題

2

山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見文を書いていました。次は、山田さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

①から④は、段落の番号を正します。

「意見文の下書き」

① SNS（ソーシャルネットワークサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。

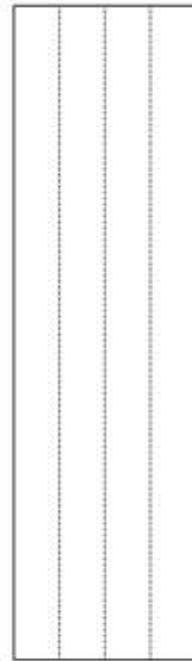
② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなと持ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、持ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何て来るの?」と書いたところ、「どうして行っただめのなの?」という返信が来た。はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか?」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を覚えないように書いていれば、このようなことは起こらなかっただろう。

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思が伝わると感じている。短い言葉でも十分に意思が伝わるように書くことは、友達と話す上で大切なことだ。友達と話すときは、相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。

④ SNSでやりとりをするときは、相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。相手の立場を思いやり、相手の気持ちに寄り添って話すことが大切だ。

二 山田さんが書いた「意見文の下書き」の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に書目として、あなたの考えを書きなさい。その際、① ② その段落の番号を示しながら書くこと。
なお、読み易くして文脈を直したときは、二本線で消したり行間に書いたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使うてもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



全国的に無回答が多かったんだって。
朝来市の生徒は、粘り強く勉強に取り組んでいるということだね。



課題があると考えられる資質・能力

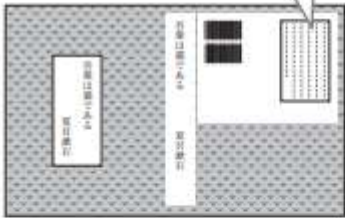
- 話し合いの話題や方向性について考える力
- 相手や場に応じて敬語を適切に使う力

課題があると考えられる代表的な問題

③ 次は、夏目漱石の作品「吾輩は猫である」の本のカバーに書かれている「紹介」と、「文章の一篇」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

紹介

中学教師の若沙先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々な評論する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が二十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の好感を呼ぶ名作。



文章の一篇

（二）までのあらすじ）若沙先生の家で暮らすことになった猫の「吾輩」は、ある日、家の裏にある茶臼で「吾輩」と出会った。吾輩は大きな体格で、重厚な人力車を引く人（人力車夫）に回われている風情がある。それ以来、「吾輩」はたびたび「黒」に出くわすようになる。

ある日、例のごとく吾輩と黒は暖かい茶臼の中で寝ころびながら、いろいろな雑談をしていると、黒はいつもの自慢話をさも新しそうにくりかえしたあとで、吾輩に向かって下の二とく質問した。

「おめえはいままでに風を何びきとったことがある。」

吾輩は思よりもほど発達しているつもりだが、腕力と勇気とにいたってはとうてい黒の比較にはならないと覚悟はしていたものの、この問いに接したときは、さすがにきまりがよくはなかった。けれども事實は事實で、いつわるわけにはゆかないから、吾輩は、

「実はとらうとらうとあって、まだとらない」と答えた。

黒は、彼の鼻の先からぴんとつっぱっている長いひげをびりびりとふるわせて、非常に笑った。元来黒は自慢をするだけにとどこか足りないところがあって、彼の気配を感じたようにのどをころころ鳴らして話をしていけば、はなはだ例しやすい猫である。吾輩は彼と近づきになつてからすぐにこの呼吸をのみこんだから、この場合にも、なまじいおのれを弄弄してますます形勢を悪くするの懸である、いっそのこと彼に自分の手柄話をしやべらしてお茶をにごすにしくはないと、思案を定めた。そこでおとなしく、

「君などは年があるから、だいたいんとつたろう」と、そそのかしてみた。



名作といわれる物語文に触れることも大切ですね。

「然然彼は、増増の文所に嘲罵して来た。」

「たんとでもねえが、三、四十はとったろう」とは、得意気なる彼の答へであった。彼はなお頭をつづけて、「鼠の百や二百は」人でもいっつも引き受けるが、いたちつてえやつは手に合ねえ。一度いたちに向かつて、ひどい目があった。」

「へえ、なるほど」と、あいづちをうつ。

黒は大きな腹をばちつかせて、いう。

「去年の大掃除のときだ。うちの亭主が石炭の袋を持って縁の手へはいこんだら、おめえ、大きないたちの野郎がめんくらって飛びだしたと思ひねえ。」

「ふん」と感心して見せる。

「いたちつてけども、なに、鼠のすこし大きいぐねえものだ。こんちきしようつて気で通っかけて、とうとうどおの中へ通いこんだと思ひねえ。」

「うまくやったね」と嘲笑してやる。

「ところがおめえ、いざつてえ段になると、やつめ最後つ尻をこきやがった。くせえのくきくねえのつて、それからつてえものはいたちを見ると胸が悪くなるなあ。」

彼はここにいたつて、あたかも去年の鼠気をも今なお感ずるごとく、前足をあげて鼻の頭を二、三べんなでまわした。吾輩も少々気のどくな感じがする。ちつと別氣をつけてやろうと思つて、

「しかし鼠なら、君にいらまれては百年日だらう。君はあまり鼠をとるのが名人で鼠ばかり食うものだから、そんなにあつておつやがいのだらう。」

黒のこきげんをとるためのこの質問は、ふしぎにも反對の結果を出した。彼は「然然として大鼠していう。『おけさるとつたらねえ、いくら稀いで鼠をとつたつて』」いってえ人間ほどふてえやつは世の中にいねえぜ、人のとつた

鼠をみんな取りあげやがつて、交番へ持つてゆきあがる。交番じゃ、だれがとつたかわからねえから、そのたんに五銭ずつくれるじゃねえか。うちの亭主なんか、おれのおかげでもう一円五十銭くらいもつけていやがるくせに、ろくなものを食わせたこともありゃしねえ。おい、人間でもの赤体のいい悪種だぜ。」

さすが無学の黒もこのくらいの理屈はわかるとみえて、すこぶるおこつたようすで背中の毛を逆たてている。吾輩は少々氣味が悪くなったから、いかげんにその場をこまかして、うちへ帰つた。

このときから吾輩は、けつして鼠をとるまいと決心した。しかし、黒の子分になつて鼠以外のこちそうをあさつてあるくこともしなかつた。こちそうを食うよりも寝ていたほうが氣楽でいい。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。

『鼠目録』は「百鬼夜行」の「鼠」による。



朝来市では、朝の読書や、読み聞かせといった読書活動に積極的に取り組んでいます。

四 「紹介」による読部「様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--

- ①文章を理解する
 - ②作文時の条件を理解して書く
 - ③制限字数を意識して書く
- といった一度に多くの情報処理を求められる問題に課題のある生徒が多いようです。



課題克服に向けた授業展開例

国語

身に付けさせたい資質・能力

文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ力

ねらい

文学的な文章を読み、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持ち、正確に表現する力をつける。

授業展開例

文学的文章の指導事例

めあて: 根拠となる表現を明確にして、自分の考えを文章で表現しよう

【手立て】

- 1 キーワードとして取り上げた理由を明確にする。
※考えを広げたり、深めたりすることを目的に交流の場面を設定する。
- 2 取り上げた叙述を引用した部分に対して、自分の考えを持つ。

○文章を要約し、作文を作成する学習例

◆焦点化して複数の条件が設定された作文に取り組む

〈例1〉登場人物に関して(人物像や人間関係)

意味段落を要約し、条件作文に取り組み、条件を満たしているか等グループで交流する。

- ・条件①選択した登場人物の主人公に対する態度を取り上げること。
- ・条件②それについてどう思うか書くこと。

〈例2〉場面に関して(情景描写を中心に)

作品の印象的な場面を要約し、条件作文に取り組み、条件を満たしているか等グループで交流する。

- ・条件①一連の出来事から「僕」が悟ったことを引用すること。
- ・条件②あなたは「僕」がどんな変化をしたと思うか書くこと。

数学

全国や県平均を下回っている。

定着傾向がみられる資質・能力

- 正式を計算する力
- データから必要な情報を読み取る力
- 事柄の特徴読み取り数学的に説明する力

定着傾向がみられる代表的な問題

1 $(5x + 6y) - (3x - 2y)$ を計算しなさい。

< 正答 >

$$2x + 8y$$

< 誤答 >

$$-15x^2 - 8xy + 12y^2$$

文字を使った式の解き方のルールを勘違いして計算してしまっている誤答が全国的に多かったようです。

朝来市の生徒は、文字を使った式のルールを正しく理解し、使いこなせているということだね。



課題があると考えられる資質・能力

- 図形について、辺や面積との関係を捉える力
- 意味を読み取って事柄が成り立つ理由を説明することができる力

課題があると考えられる代表的な問題

6 自然数を5つずつに区切った表があります。この表で、縦に2つ、横に2つの数が入る四角で4つの数を囲みます。例えば、右の図1のように四角で4つの数を囲むとき、左上の数は3、右上の数は4、左下の数は8、右下の数は9になります。

図1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

優太さんと真菜さんは、右の図2のように、4つの数を囲んで、それら4つの数の和がどんな数になるかを調べています。

図2

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35

1. 2. 6. 7のとき $1 + 2 + 6 + 7 = 16 = 4 \times 4$
 9. 10. 14. 15のとき $9 + 10 + 14 + 15 = 48 = 4 \times 12$
 22. 23. 27. 28のとき $22 + 23 + 27 + 28 = 100 = 4 \times 25$

優太さんは、これらの結果から、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になると予想しました。

(2) 二人は、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることが成り立つかどうかについて話し合っています。

優太さん「左上の数が1のとき、左下の数が6になっているね。四角で4つの数を囲むとき、左上の数に5をたすと左下の数になっているよ。」
 真菜さん「そうなるのは、自然数を5つずつで区切っているからだね。」
 優太さん「左上の数を n とすると、左下の数は $n+5$ と表すことができるね。」
 真菜さん「右上の数と右下の数も n を使って表して、4つの数の和について調べてみよう。」

「四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になる」という優太さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

課題克服に向けた授業展開例

数学

身に付けさせたい資質・能力

- ・文字を用いた式で、数量および数量の関係をとらえ、説明する力。
- ・事象の特徴を的確に捉える力。

ねらい

目的に応じて式を変形したり、それを確かめたりすることを通して考察の対象を明確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明できるようにする。

授業展開例

2年 「数と式」

めあて：数量の関係がいつでも成り立つことを文字式を使って説明しよう

【問題】

右のようなカレンダーで、四角で囲んだ4つの数の和がどんな数になるか調べましょう。

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
28	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



四角で囲まれた4数の和について計算してみましょう。



$7+8+14+15=44$ 、 $17+18+24+25=84$ 、となります。
どちらも4の倍数になっているよ。

① いつでも4の倍数になることを説明するためには、どうすればよいか考える。



【考えるための手立て】

- ・九九の4の段を書くと、何か気が付かないかな！
- ・分からない数やいろいろな数が入るときはどう表したかな？
- ・数の性質がいつでも成り立つことを説明するためには、何を使えば良いかな？



- ・ $4 \times$ （自然数）の形になると思います。
- ・4数を文字式で表して、和を計算してみると良さそうです。
- ・すべての自然数で成り立つことを説明するために、 $4 \times$ （文字式）の形にできれば良いと思います。

② 左上の数を n として、四角で囲まれた 4 数を文字式で表す。



n $n+1$
 $n+7$ $n+8$ と表せます。

計算するだけでなく、説明する場面も必要なんだね。



左下の数が $n+7$ と表せるのはなぜか、説明できるかな？

③ 文字式で表した 4 数の和を計算後、ペアで話し合い $4 \times$ (文字式) の形に変形して結果を考察する



・ $n + (n+1) + (n+7) + (n+8)$
= $n+n+1+n+7+n+8$
= $4n+16$
になります。
・ 変形すると $4(n+4)$
になります。

☆学んだことの活用がポイント!!

- ・ 多項式の四則計算の時の大切なルールに注目
- ・ 分配法則を変形する



④ グループでいつでも 4 の倍数になることを説明し合い、グループで説明方法をまとめる。その後、みんなで確認する。



・ n にはどんな自然数が入ってもよいので、 $n+4$ も自然数になっていることが分かりました。
・ だから $4 \times$ (文字式) の形になっているので、いつでも 4 の倍数になることが説明できたと思います。

<ポイント>

○ 文字式を利用することの良さに気付く

【手立て】

- 1 「いつでも成り立つ」という言葉をヒントにして考える。
- 2 視覚を活用する (カレンダー)
7 つに区切られた表の区切り方を変えたり、四角ではない形で数を足したりする。



⑤ 学習したことを振り返る。

- ・ 副教材、数学レポート
- ・ 教科書 P33 章末「学びを身につけよう」-5 タブレット PC で QR コードを読み取り、模範解答を利用

(指導の工夫)

- ・ 4 つの数の和がいつでも 4 の倍数になることを説明するために、文字式を使って $4 \times$ (式) の形にできればよいことに気づかせる。(文字を使う意義を理解させ、見通しを持たせる)
- ・ ペアやグループで話し合うことにより、目的に応じて式を変形したり事柄が成り立つ理由を説明したりする力をつける。

今 後 に 向 け て

今年度の調査結果分析から、朝来市の児童生徒の学力については、小・中学校とも概ね定着していると考えられます。

これは、学力を下支えする地域の関心の高さを受けての結果と考えております。

しかし、新学習指導要領で強く求められている「思考力・判断力・表現力等」に課題が見られる教科もありました。

本市では、「小小連携推進事業」や中学校区ごとの「小中連携推進事業」を実施して実践の共有と系統化を図るとともに、各校での同調査を分析し、抱える課題とその課題解決に向けた取り組みを協議し、学習状況の改善や教員の指導力の向上を図り、子どもたちの学習意欲や学力向上に取り組んでいます。

また、平成26年度から取り組んでいる「授業のユニバーサルデザイン化モデル研究事業」は、今年度から第2次の取組がスタートしています。全ての子どもたちに分かりやすい授業づくりについて研究し、子どもたちが「できる」と実感できる授業づくりを進めていきます。

今年度は「新型コロナウイルス感染症」の影響について注目される調査となりました。現時点では、国や兵庫県と同様に、朝来市においても影響はなかったと言えますが、目に見えるほどの影響が出るとすれば、もっと時間がかかると考えておりますことから、長いスパンで子どもたちの様子を注視していきます。

そして、学校運営協議会をはじめ地域の方々と協働して子どもたちの健全育成に取り組んでいきます。



お問い合わせ先 朝来市教育委員会
学校教育課 TEL 672-4930